

令和6年度 幼稚園関係評価 概要

幼稚園経営計画を受け、教育課程を編成し、教職員が一丸となって保育実践を積み重ねてきました。今年度の取組について、保護者、幼児、学校運営協議会委員、教職員にアンケートを実施し、結果を参考にして教員による自己評価を行いました。会での意見やアンケート結果を含め、総合的に分析・考察し、改善の必要な点について明らかにし、次年度の教育課程の編成に生かしていきます。

今年度も保護者アンケートの回収率は94.4%でした。

A評価が90%を超えるものは4項目、80%台が8項目、70%台が7項目でした。A、Bを合わせると1項目（小中学校との交流・施設利用）以外は95%以上でした。園内研究・研修の成果を保育に反映しているがA評価の割合が60%台と他に比べると低い評価となっています。

子どもへのアンケートの聞き取りについては、評価の説明の際に、お子さんも保護者の方も落ち着いた状態の時に実施するようお願いしました。保護者は大変協力的で、特別なご事情があるご家庭以外の方はご提出いただきました。特に質問4（「好きな遊びは何ですか」）に関しては丁寧に聞き取っていただきました。保護者の方がお子さんに質問をすることによって、親子の対話となり、お子さんの気持ちや楽しんでいることなどを感じる機会になったのではないのでしょうか。保護者の皆様には大変感謝しております。

園内では行事ごとの反省の他に、教職員も同様のアンケートと1年間の教育活動全般について振り返る協議も実施しました。それらの評価や次年度の方向性も含めて概要をお伝えします。

<幼稚園運営について>

- 経営方針や園の教育に関しては、保護者会、懇談会、行事の参観、手紙の配信、ホームページ・X等、様々に発信の工夫を行っています。保護者、学校運営協議会委員、教員とも、ご理解いただいております。今後も会への参加や配信等の確認などにご協力いただき、質の高い幼児教育についてご理解いただけるように努めます。
- 教職員の対応が丁寧の項目では学校運営協議会委員の2名が「わからない」と回答されました。電話やご来園の機会が少ないことにより、ご判断が難しかったと思います。丁寧に説明していきます。
- PTAや地域と連携し、子どもたちの遊びや生活、体験が豊かになっています。地域の行事に出掛けたり、行事を通して地域の方と関わったりするなど、地域への愛着心を育み、地域の方との交流を深めています。PTA活動に関しては、負担のないよう、必要な改善

のために、役員さんと連携して1年間を振り返り、次年度につなげていきます。

- 地域の小中学校との交流や施設利用は、保護者・教職員・学校運営協議会委員さんともに評価が低い傾向にありました。それぞれの小中学校の事情があるため回数を増やすことは難しいですが、交流の事前事後に、それぞれの校種の担当教員が打ち合わせや反省をし、お互いの教育内容の充実につなげていきます。また、第二校庭を使用させていただき、広い場で思い切り体を動かすことができるようにしていきます。
- 未就園児の会は、毎週1回、担当の会計年度職員の先生と園とでプログラムを考えて実施しました。学期ごとにポスターを作成し、地域の方に掲示していただいたり、ホームページに掲載したりして、広く地域の未就園児保護者に周知しました。園行事や幼児と関わる活動、季節に合った遊びや教材等、未就園児保護者からは、活動内容に対して好評いただいております。青南幼稚園の教育について理解していただき、新入園児につながっています。来年度も継続して、園と担当の会計年度職員と連携し、未就園児親子にとって、楽しく園や他の親子とつながることができる会の運営を工夫していきます。
- 今年度は運動会を園庭で開催いたしました。第二校庭使用に関しては、時間や回数など制限があり、行き来の安全管理や幼児・教員の負担等に課題がありますが、園庭は幼児が安心して活動でき、幼児や学級の実態・生活の流れに合わせて、活動時間をとることができました。そのため、幼児は慣れた場で安心して伸び伸びと体を動かし、体を動かす楽しさを感じ、多様な動きの経験ができました。現代は道も校庭も舗装や整備がなされ、平らで人工的な状況となっていますが、安全面に配慮しながらカーブや傾斜、凹凸のある場を走ることも、園庭ならではの経験となり、結果として、幼児の調整能力の向上につながりました。本園の園庭環境のよさを生かして行う幼稚園時代ならではの運動会ができたことは貴重でした。現在の園児数だから実施が可能となりました。第二校庭の使用に関しては、年長児は3学期にリレーを行うなど、1年を通して、活動内容によって、第二校庭を使用させていただきます。
- サポート保育担当講師についてのご意見をいただきました。サポート保育担当講師は教員とそれぞれの保育中の幼児の様子を伝え合い、情報共有し、幼児にとってよりよい関わり方や保育のあり方を工夫しています。今後もサポート保育に参加する幼児全てが安心して過ごすことができるよう、保育のあり方や幼児への温かい言葉掛け・援助について教員全員で考え、幼児にとって安心して居心地のよいサポート保育に時間となるようにしていきます。心配事や気になったことがある場合には、遠慮なく担任や主任に伝えていただけますと、速やかにお子さんが安心して過ごせるよう対応してまいります。

<教育内容・指導>

- 遊びを大切にされた教育の推進については、保護者、学校運営協議会の方から高い評価をいただきました。幼児期の発達にふさわしい遊びを通した学びの周知に向け、保護者会や巻頭言、X（旧 Twitter）やホームページ等でお伝えしてきました。担任からは懇談会や学級だより等で、具体的に遊びの中の学びや経験を伝えてきました。今後も遊びを大切にされた教育を推進し、直接体験を充実させ、子どもたちの資質・能力を豊かに育んでいきます。

- 体を動かす体験については、教員のA評価が低い数値となりました。運動遊びやダンスなど、時期や発達に合わせて行っていますが、指導計画に基づき、来年度は、さらに教材や環境、活動の工夫をし、幼児が楽しみながら様々な動きを獲得できるようにしていきます。
- 園内研究や研修に関して、保護者のA評価はやや低い傾向にあります。保護者会、担任からの連絡、ホームページ、X等で発信していますが、今後も引き続きわかりやすく発信していきます。
- 学校運営協議会委員さんお一人から「わからない」との評価をいただきました。1学期に保育参観をしていただき、協議会の際に園児や保護者、教員、園の教育についてお話しさせていただきましたが、協議内容や時間の制約があり、詳細にお伝えすることができていませんでした。評価の際には資料配布と簡易な説明ではなく、具体的にお伝えしていくようにします。

<安心・安全>

- 保護者・学校運営協議会委員・教職員からおおむねA・B評価をいただき、安全で衛生的な環境を維持し、幼児に安全・防犯・災害時の対応等の指導が評価されました。一方で、保護者1名より通学ゾーンへの車の進入についてご意見をいただきました。本園は赤坂警察署と連携して安全指導を実施しておりますが、今後も登園時の車の対応なども含めてさらに赤坂警察署と連携し、安全指導や安全管理の向上を図っていきます。

<その他>

- 特色ある活動に関しては、地域の方にご協力いただき、七夕コンサート、昔遊びの会、ハンドベルコンサートなど実施することができました。保護者の方には、青南祭りや餅つきなどでご協力いただいております。また、こいのぼりや七夕の際には、地域の交番や駅などに子どもたちの作品を持参し、飾っていただきました。これからも、地域や保護者の方と協力して子どもたちの体験を豊かにし、地域を愛する幼児を育てていきます。
- 学校運営協議会委員さんの評価の際、欠席の方以外の方には、全員の方に評価していただくことができました。

<子どもアンケート>

- 子どもアンケートの質問4「好きな遊びは何ですか」は、自由記述のため、学年が上がるほど回答した遊びの種類が多くなっています。遊びの種類が豊富になることや体験したことを記憶・想起して伝える言語能力等の育ちも影響していると思います。
- どの学年も室内の遊び・屋外の遊び、一斉活動などの遊びが記述されており、全学年で豊かな遊びが展開され、子どもたちが遊びを楽しんでいることが分かります。砂遊びや虫探しなど、本園の自然に恵まれた園庭環境での遊びを楽しんでいることが分かりました。今後も園庭の自然環境を生かした体験を充実させていきます。
- ごっこ遊び、運動遊び、製作、描画などが上位となりました。これらの遊びは創造性や感性、人との関わり、健康な心と体などにつながる遊びと言えます。総合的に子どもたちの

資質・能力を育てていきます。

- 今後も幼児期に遊びを通して幼児一人ひとりの資質・能力を育てていくために、研究や研修に励み、幼児の体験・学びの質を高めるための教育環境・教材・教師の援助等の工夫・改善を行い、全教職員一丸となって、幼児にとっても保護者の方にとっても、安心できる楽しい幼稚園、子どもが育つ幼稚園にしていきます。